

「＜私＞に満足して生きる」愛と自由に生きる①

出エジプト記20章1～17節



「私たちが救い出した神を神とする」ことによって、生命、家庭、自由、名誉を奪ってはならないことを命じた十戒は、最後に「あなたの隣人の家を欲してはならない。…」と命じます。

「欲する」は、他の訳では「欲しがる」あるいは「むさぼる」と訳されています。それはこれまでの戒めとは異なって、私たちの行為に対するものではなく、私たちの内面を問いただしています。

① 隣人との比較の世界には生きない

“あなたの隣人の家を欲してはならない。あなたの隣人の妻、男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを欲してはならない。” 17

② 自分と自分に与えられているものに満ち足りることを学ぶ

“この世の思い煩いや、富の惑わし、そのほかいろいろな欲望が入り込んでみことばをふさぐので、実を結ぶことができません。” マル4:19

“しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそが、大きな利益を得る道です。私たちは、何もこの世に持って来なかったし、また、何かを持って出ることもできません。衣食があれば、それで満足すべきです。…” 1テテ6:6-

“乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満足することを学びました。私は、貧しくあることも知っており、富むことも知っています。満ち足りることに飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。”

ピル 4:11-

③ 欲望を押しえつけるのではなく、正しく方向づける

“これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。” マヤ16:32

“後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの偽善によるものです。彼らは結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人々が感謝して受けるように、神が造られたものです。神が造られたものはすべて良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何もありません。”

1テテ4:3-

<話し合ってみましょう>

- ・欲望にはいろんな内容や側面がありますが、あなた自身が弱さを覚えやすい欲望はどのような欲望ですか。またそれに対してどのように対処していますか。